

# 「町田生きもの共生プラン ー生物多様性はじめの一步」各施策の取り組み状況

参考資料3

基本方針1 意識高揚 ～理解する～

目標 町田市の生きものや自然に関心をもち、町田市の魅力の一つととらえ、生きものや自然に親しみと愛着を持つ市民・子ども・事業者を増やします

成果と課題 町田市の生物多様性に関する普及啓発紙の新聞折り込み、薬師池公園のかいぼりがテレビ・新聞などで取材されたことによる外来種問題の啓発など多くの市民へ情報発信を行いました。自然観察会の開催により生きものや自然に親しむ機会を提供しました。また、子ども生活部をはじめとした多くの部署において、子どもたちが生きものや自然にふれあい学習する機会を提供しています。今後は、生きものや自然を市の魅力としてとらえる市民を増やし、事業者へ向けでも普及啓発をしていくことが課題です。

基本方針目標	施策	施策	具体的な取り組み ★は新規の取り組みが想定されるもの	2015年度実施状況	課名
1	1	①	・外来種の飼育に関する情報の発信	ECOまちだ生物多様性特集号で記事の掲載、ホームページでの情報発信、薬師池のかいぼりでテレビや新聞の取材を受けることにより、外来種問題の普及啓発ができました。	環境・自然共生課
1	1	①	★外来種の取り扱い・ルールに関する情報の発信	ECOまちだ生物多様性特集号で記事の掲載、ホームページでの情報発信、薬師池のかいぼりでテレビや新聞の取材を受けることにより、外来種問題の普及啓発ができました。	環境・自然共生課
1	1	①	★忠生がにやら自然館や小野路宿里山交流館等を活用した情報発信	忠生がにやら自然館の昆虫標本を、イベントやミニフォーラムなどで展示をすることにより、生きものへの関心を高めることができました。	環境・自然共生課
1	1	①	★忠生がにやら自然館や小野路宿里山交流館等を活用した情報発信	小野路宿里山交流館土蔵において、小野路の自然に関する企画展示を実施し、自然に興味を持つ人に対して魅力を伝えることができました。	産業観光課
1	1	①	★忠生がにやら自然館や小野路宿里山交流館等を活用した情報発信	がにやら通信を月1回発行し、季節毎の情報や、観察会の予定等が発信できました。	公園緑地課
1	1	①	★町田市の生物多様性に関する情報の普及啓発資料の作成	「ECOまちだ生物多様性特集号」を発行し、新聞への折込等により約129,000部を配布しました。	環境・自然共生課
1	1	①	★町田市の生物多様性に関する情報の普及啓発資料の作成		
1	1	①	★登録文化財制度による市内の生きものの情報発信	町田市文化財指定・登録基準を整備したことにより、登録対象を明確にすることができました。	生涯学習総務課
1	1	①	★イベント等における自然に育まれた歴史や文化に関する情報の発信	未実施	
1	1	②	★事業者向け普及啓発資料の作成	未実施	
1	1	③	★生物多様性に関する資料・情報や環境保全活動等に関する情報を収集・発信する仕組みづくり	重点プロジェクト①参照	環境・自然共生課
1	1	④	★市民協働による生きもの調査の実施	重点プロジェクト④参照	環境・自然共生課

基本方針目標	施策	施策	具体的な取り組み ★は新規の取り組みが想定されるもの	2015年度実施状況	課名
1	1	④	・町田エコフェスタ等環境イベントにおける生物多様性に関するイベントの実施	イベントブースにおいて、生物多様性パネルの掲示や生きもの共生プラン概要版を配布し、普及啓発を行いました。	環境・自然共生課
1	1	④	・町田市農業祭の開催	町田シバヒロにて町田産農畜産物の販売や・品評会等を行い、来場者6,160人に町田市の農畜産物をPRしました。	農業振興課
1	2	①	★生きものや自然をテーマとした、子どもたちが遊びながら学ぶことができる環境学習の実施・推進	自由研究おうえんプロジェクトにおいて「昆虫標本スケッチ&自然素材で額縁作り」を実施し生きものへの関心を高めました。	環境・自然共生課
1	2	①	★生きものや自然をテーマとした、子どもたちが遊びながら学ぶことができる環境学習の実施・推進	小山田小学校の児童を対象にドングリ植えと植樹を行うことにより、自然を楽しみ、親しんでもらうことができました。	北部丘陵整備課
1	2	①	★生きものや自然をテーマとした、子どもたちが遊びながら学ぶことができる環境学習の実施・推進	子ども向けに星の講座を実施しました。さつまいもの収穫（低学年）、いもほり体験（幼児）を実施し、土をいじる機会や大事に育て収穫する喜びを提供することができました。	児童青少年課
1	2	①	★生きものや自然をテーマとした、子どもたちが遊びながら学ぶことができる環境学習の実施・推進	ひなた村科学クラブで生物分野の講座開催や、自然木を用いた丸太いす作り講座、ミニイベントとしてネイチャークラフト講座を開催しました。	児童青少年課（ひなた村）
1	2	①	★野外において、子どもたちが生きものや自然にふれあいながら学ぶことができる体験学習の実施・推進	観蓮会にてネイチャービンゴ、薬師池では生物捕獲と放流イベント、里山および公園で生きもの調査を実施し、自然に目を向ける機会の提供や、生物多様性への理解を深めてもらうことができました。	環境・自然共生課
1	2	①	★野外において、子どもたちが生きものや自然にふれあいながら学ぶことができる体験学習の実施・推進	小山田小学校の児童を対象にドングリ植えと植樹を行うことにより、自然を楽しみ、親しんでもらうことができました。	北部丘陵整備課
1	2	①	★野外において、子どもたちが生きものや自然にふれあいながら学ぶことができる体験学習の実施・推進	子どもセンター主催の大地沢青少年センターでのキャンプや、センター合同でのチャレンジハイクを実施し、豊かな自然と景色の変化を感じてもらうことができました。	児童青少年課
1	2	①	★野外において、子どもたちが生きものや自然にふれあいながら学ぶことができる体験学習の実施・推進	ひなた村において、「ネイチャーグループ」を開設しての年12回の野外活動や、ロープワーク、デイキャンプ、たき火などの野外イベント、春のひなた村まつりにおいて野外体験ブースの開催等を行いました。	児童青少年課（ひなた村）
1	2	①	★生きものや自然をテーマとした、子どもたちが遊びながら学ぶことができる環境学習の実施・推進	自然体験塾、子どもキャンプ、ハイキング、森林体験塾等各事業を大地沢青少年センターにて実施し、参加者のアンケートでは4段階中最高評価の回答「非常に楽しかった」が全体の84.3%を占めました。	大地沢青少年センター
1	2	①	★野外において、子どもたちが生きものや自然にふれあいながら学ぶことができる体験学習の実施・推進	自然体験塾、子どもキャンプ、ハイキング、森林体験塾等各事業を実施し参加者に記入していただくアンケートを集計した結果、学びがあったという回答が全体の86.5%を占めました。	大地沢青少年センター
1	2	②	・生きものとふれあうことができる場づくり	小中一貫ゆくのき学園大戸小学校において、すべての児童がヤギの飼育を経験し、習性を学んだり、動物への愛着の心を育てることができました。	指導課
1	2	②	・地域の自然を育むための苗木の育成、苗木植え	小中一貫ゆくのき学園大戸小学校、相原小学校において、「相原保全会」の方から共有林の歴史や小学校との関係についてのお話をいただき、下草刈りや木の生長の測定の仕方、間伐の体験等を実施することにより、学校と地域の結びつきや保全意欲を高めることができました。	指導課
1	2	②	・地域の自然を育むための苗木の育成、苗木植え	小山田小学校の児童を対象にドングリ植えと植樹を行うことにより、自然を楽しみ、親しんでもらうことができました。	北部丘陵整備課

基本方針 目標	施策	施策	具体的な取り組み ★は新規の取り組みが想定されるもの	2015年度実施状況	課名
1	2	②	★地域ボランティア等との交流による学校ビオトープの活用	大蔵小学校・小中一貫ゆくのき学園大戸小学校において、ビオトープの管理や、メダカの観察、ホタル観賞会など、生き物と触れ合うことを通して、自然の仕組みを学ぶとともに、動植物への愛着の心を育てることができました。	指導課
1	2	②	学校における農業体験の推進	地域の農家と協力しての田んぼの管理や、小学校全校でバケツ稲を実施し一人一つ育てることで、稲を大切に育てようとする気持ちを高めることができました。	指導課
1	2	③	・フットパスの普及促進	小野路宿里山交流館のイベントとして里山歩きを実施し、小野路の魅力を伝えることができました。まちだフットパスの道標を設置しました。	産業観光課
1	2	③	・自然観察会の実施	毎月第1日曜日に定例自然観察会を行い、幼児から高齢者まで幅広い参加者177名に自然観察を楽しんでもらうことができました。	公園緑地課

# 各施策の取り組み状況

## 基本方針2 人材育成 ～育つ～

目標 生物多様性の維持・向上に関わる知識を持って保全活動を行う人材を育てます

成果と課題 市民協働による生きもの調査の実施や農業者育成の取り組みを行いました。町田市 of 自然環境や生きものに詳しい人材の把握が不十分であるため、今後は情報収集に努め、保全活動の中心となる人材を発掘、育成していくことが課題です。

基本方針目標	施策	施策	具体的な取り組み ★は新規の取り組みが想定されるもの	2015年度実施状況	課名
2	1	①	★町田市 of 自然環境や生きものに詳しい人材の把握と活用	ミニフォーラム（重点プロジェクト②参照）にて、長年町田 of 自然保護活動に関わってこられた方を講師としての講演会を開催し、関連団体による町田 of 植物写真等の出展などのご協力をいただきました。	環境・自然共生課
2	1	①	・環境講座の実施	まちだ市民大学環境学 of 連続講座の一環として、鶴見川流域 of 水生生物 of 生態系についての現地調査（体験学習）を2回実施し、環境保全 of 大切さを学んでいただきました。	生涯学習センター
2	1	①	★ネイチャーリーダー講座の実施	ひなた村において、青少年委員23名、青少年健全育成地区委員150名に対し、それぞれ1回、野外炊飯やネイチャークラフト of 指導者向け講習を実施しました。	児童青少年課（ひなた村）
2	1	①	★市民協働による生きもの調査の実施【再掲】	重点プロジェクト④参照	環境・自然共生課
2	1	②	・援農者、新たな担い手 of 育成	農家を支援する援農者や新たに農業経営を目指す方など、「自ら耕作できる技術を持った人材」 of 育成を目的とした2年間 of 農業研修を行い、第5期生12名が研修を修了しました。	農業振興課
2	1	②	・意欲のある農業者 of 支援	意欲のある農業者に対して経営相談等 of 支援を行い、47名を認定農業者として認定しました。	農業振興課

# 各施策の取り組み状況

## 基本方針3 協働・連携 ～つながる～

目標 多様な主体の協働・連携により、町田市の生きものやその生育・生息環境を守ります

成果と課題 北部丘陵では、NPO等と協議を行い、里山環境維持保全実施計画を策定し、整備及び管理手法等について定めることができました。今後は、市全域にわたる多様な主体の協働・連携の基盤を整備するため、重点プロジェクト①の情報拠点機能整備や②の多様な主体の交流の場の提供を進め、市民協働による取り組みの推進、各主体の活動の展開を図っていきます。

基本方針目標	施策	施策	具体的な取り組み ★は新規の取り組みが想定されるもの	2015年度実施状況	課名
3	1	①	★市民協働による生物多様性保全に関する取り組みの実施	未実施	
3	1	①	★市民協働による生きもの調査の実施【再掲】	重点プロジェクト④参照	環境・自然共生課
3	1	②	★市民団体の活動を発表できる場の提供	重点プロジェクト②参照	関係各課
3	1	②	・市民による河川の清掃活動の推進	市民で構成された実行委員会が主催し、町田市民・相模原市民が参加する境川クリーンアップ作戦2015の情報を、広報まちだ及び市のホームページに掲載しました。	下水道総務課
3	1	②	★生物多様性に関する情報の提供	重点プロジェクト①参照	環境・自然共生課
3	1	②	・市民による水路の維持管理の支援	町田市下水道用地等アダプト事業の推進と支援を行いました。 新たに4団体と協定を締結し、うち1団体は生き物の調査活動も行いました。	下水道管理課
3	1	③	★市民協働での里山管理の仕組みの検討	NPO等と協議を行い、鶴見川流域及び奈良ばい谷戸地域に関する里山環境維持保全実施計画を策定し、実現すべき姿、その対象区域、整備及び管理手法等について具体的に決めました。	北部丘陵整備課
3	1	③	★市民や市民団体が活動内容の発表や情報交換等の交流を行う場づくり	重点プロジェクト②参照	環境・自然共生課
3	2	①	★大学や事業者との連携による啓発事業や調査等の実施	横浜国立大学へ研究委託を行う中で、北部丘陵の活用についての意見をいただきました。 (重点プロジェクト③参照)	環境・自然共生課

# 各施策の取り組み状況

## 基本方針4 保全と持続可能な利用 ～守る・活用する～

目標 町田市の生きものやその生育・生息環境を守り、生物多様性の恵みを継続的に利用する仕組みを構築します

成果と課題 既存の緑地・水路の官理、出んのはの保全推進の他、北部丘陵における里山環境維持保全実施計画の中でこれまで対象としていなかった果谷戸について維持保全計画案策定により生きものやその生育・生息環境を保全しました。自然観察やウォーキング、農業等を通じて生物多様性の恵みを利用する取り組みを実施しました。今後は、活用と保全を両立する取り組みとして、重点プロジェクト③を推進していきます。また、開発事業実施の際の生物多様性への影響に対する配慮の検討、環境指標種、外来種対応の検討など、専門的知識が必要な取り組みについては、いかに進めていくかが課題となっています

基本方針目標	施策	施策	具体的な取り組み ★は新規の取り組みが想定されるもの	2015年度実施状況	課名
4	1	①	・町田市ふるさとの森の保全	生物多様性保全に配慮した管理活動を行う市民団体を支援しました。ふるさとの森とは別に、制度上安定した緑地として七国・相原特別緑地保全地区の用地取得を3,825.96㎡行いました。	公園緑地課
4	1	①	・里山環境再生事業の実施	鶴見川源流域及び奈良ばい谷戸において、雑木林や谷戸の管理作業など、環境再生事業を実施しました。	北部丘陵整備課
4	1	①	★里山環境再生事業の新規実施地域の検討	鶴見川源流域及び奈良ばい谷戸地域に関する里山環境維持保全実施計画の中の東谷戸について、植生タイプごとにゾーニングし、区画ごとの維持保全計画案を策定しました。	北部丘陵整備課
4	1	①	★里山環境再生事業の新規実施地域の検討	現地調査や市民要望に応じて草刈や剪定を行うことで、市内の緑地を保全することができました。	公園緑地課
4	2	①	・市民による河川の清掃活動の推進【再掲】	市民で構成された実行委員会が主催し、町田市民・相模原市民が参加する境川クリーンアップ作戦2015の情報を、広報まちだ及び市のホームページに掲載しました。	下水道総務課
4	2	①	・下水処理における適正な水処理	成瀬クリーンセンターにおいて、設備更新にあわせて、効率の良い機器を導入した一部の既存施設などで、準高度処理の実証運転や、既存の高度処理による水処理を継続して行いました。鶴見川クリーンセンターにおいては、増加する汚水量に対応するため、設備設定を適時変更するなどの水処理を行いました。年間を通じて安定して良好な処理水質を確保することで、河川の良い水質の保全に努めました。	水再生センター
4	2	①	・市民による水路の維持管理の支援【再掲】	町田市下水道用地等アダプト事業の推進と支援を行いました。新たに4団体と協定を締結し、うち1団体は生き物の調査活動も行いました。	下水道管理課
4	2	②	・雨水幹線整備時における水辺環境への配慮	未実施	

4	3	①	・街区公園整備事業	木曾富士見公園実施設計は、計画どおり完了し、小山町第1児童遊園実施設計は、業務委託を行わずに設計を完了させ、整備工事に着手しました。	公園緑地課
4	3	①	・公園・緑地の整備・管理における生物多様性保全の推進	現地調査や市民要望に応じて草刈や剪定を行い、市内の緑地を保全することができました。雑木林管理者講習会を実施しました。市内の緑地を保全することができました。	公園緑地課
4	3	②	・緑の連続性に配慮した街路樹の維持・管理	樹種毎に「目標樹形シート」を作成しての剪定や、枯れて樹木がなくなった植樹柵等に高木及び低木を植栽することにより、緑の連続性が確保されました。	道路補修課
4	3	③	★開発事業実施の際の生物多様性への影響に対する配慮の検討	未実施	
4	4	①	★市内の生きものの生育・生息状況の把握	重点プロジェクト④市民協働による生きもの調査の他、市民から寄せられる情報等を管理しました。	環境・自然共生課
4	4	①	★市民協働による生きもの調査の実施【再掲】	重点プロジェクト④参照	環境・自然共生課
4	4	①	★生物多様性の現状を把握するための環境指標種の検討	未実施	
4	5	①	・外来種の飼育に関する情報の発信【再掲】	ECOまちだ生物多様性特集号で記事の掲載、ホームページでの情報発信、薬師池のかいぼりでテレビや新聞の取材を受けることにより、外来種問題の普及啓発ができました。	環境・自然共生課
4	5	①	★外来種の取り扱い・ルールに関する情報の発信【再掲】	ECOまちだ生物多様性特集号で記事の掲載、ホームページでの情報発信、薬師池のかいぼりでテレビや新聞の取材を受けることにより、外来種問題の普及啓発ができました。	環境・自然共生課
4	5	②	・生態系に被害を及ぼす特定外来生物アレチウリの駆除	北部丘陵において定期巡回を行い、アレチウリの除去を継続的に行ったことで、ほぼ被圧することができました。	北部丘陵整備課
4	5	②	・農業生産に被害を及ぼす特定外来生物アライグマの駆除	JA町田市及び猟友会と有害獣捕獲業務委託契約を締結しており、特定外来動物の駆除を目的とした捕獲契約ではないものの、毎年20頭前後のアライグマの駆除に繋がっています。	農業振興課
4	5	②	★外来種への対応の検討	薬師池かいぼりに伴い、外来種（ブルーギル、ミシシippアカミミガメなど）の対応を検討し、駆除することとしました。	環境・自然共生課
4	6	①	・生きものや自然に親しめるイベント等の実施	市民公募で、タケノコ堀、サツマイモ堀、ウォーキング等のイベントを実施し、自然を楽しみ、親しんでもらうことができました。	北部丘陵整備課
4	6	①	・生きものや自然に親しめるイベント等の実施	忠生公園自然観察センター・かしの木山自然公園定例自然観察会をボランティアの協力を得て実施しました。	公園緑地課
4	6	①	・農業体験の実施	市民公募で米づくり体験を実施し、自然を楽しみ、親しんでもらうことができました。	北部丘陵整備課
4	6	①	・農業体験の実施	米作り農業体験において、田植え・稲刈り・収穫祭を行い、親子12組31名（1日で定員に到達）が参加しました。	農業振興課
4	6	②	・まちだフットパスの利用促進【再掲】	小野路宿里山交流館のイベントとして里山歩きを実施し、小野路の魅力伝えることができました。まちだフットパスの道標を4基設置しました。	産業観光課

4	6	②	★ビオトープ作庭イベントの開催	重点プロジェクト⑤参照	環境・自然共生課
4	7	①	・生産緑地の保全・活用	生産緑地追加指定の申請が5件7筆1,816㎡あり、現地調査後に推薦を行い、申請した全てが認められました。	農業振興課
4	7	①	・町田産農作物の学校給食での活用	小学校42校の給食で地場野菜、町田産米を使用し、町田産農産物の普及に貢献した他、児童の食や食に携わる人々に対する感謝の心の育成に繋がりました。	保健給食課
4	7	①	・町田産農作物の学校給食での活用	町田産農産物の学校給食供給事業補助により、学校給食供給量が増加しました。	農業振興課
4	7	②	・減農薬・減化学肥料農法に取り組む農業経営者の支援	東京都エコ農産物認証制度取得者及びエコファーマー認定者が、市内畜産農家の生産する堆肥を購入する経費について、補助率をそれぞれ5割、2割増しで堆肥流通促進事業補助金を交付して支援をし、2015年度中に新しく3名の農業者が東京都エコ農産物認証を取得しました。	農業振興課
4	7	②	・田んぼの保全推進	110,512㎡の水田に66名の農家が水稻を作付けし、良好に管理された方に水田保全奨励金を交付することにより、水田の保全に向けた、農家の意欲の増進につながりました。生物の多様性の保全等の機能を有する水田の保全に一定の成果がありました。	農業振興課
4	7	③	・遊休農地のあっせん制度	農地あっせんが成立し、遊休農地の有効活用が図れました。	農業振興課
4	8	①	★生物資源利用促進の取り組みの実施	重点プロジェクト③参照	
4	8	①	・木の枝や落ち葉の堆肥としての利用・推進、堆肥流通促進制度の推進	各種イベント等で剪定枝たい肥の販売を実施し、毎回ほぼ完売で、リピーターも着実に増えてきています。	資源循環課
4	8	①	・木の枝や落ち葉の堆肥としての利用・推進、堆肥流通促進制度の推進	市内畜産農家が生産する堆肥の購入に要する経費に対して補助を行い、市内生産堆肥249.3tが取引され、家畜ふん尿の資源循環を促進することができました。	農業振興課